

社協通信

第3号

◆発行日◆
平成27年10月1日

◆発行者◆
松前町社会福祉協議会

◆住所◆
松前町字福山236-4
地域福祉交流センターゆいっこ
☎ 42-2270



平成27年9月5日(土) 秋晴れのもと地域福祉交流センター「ゆいっこまつり」を開催しました。ご来場いただきました皆様、本当にありがとうございました。

地域福祉交流センター 2015 ゆいっこまつり開催しました

平成27年9月5日(土)

地域福祉事業の推進、訪問介護事業、居宅介護支援事業、障害福祉サービス事業、地域活動支援センター事業、日常生活自立支援事業など多岐にわたっています。

各種事業では担当職員が相談にも対応していますので、気軽に来所や電話でお問い合わせください。

当日は、屋内でパネル展示等と言いつた伝えられる松前町の昔話の語り会。屋外では地域活動支援センターの授産製品(クッキー・ドライフラワー・エコクラフト・廃油石鹸など)を販売。もちろんまつりの雰囲気を出すには欠かせない売店コーナーを開設。かき氷、焼き鳥、フランクフルト、焼きそばなどを販売。

たくさんのご来場者のご協力のもとに、ほぼ完売することができました。

年に1回の開催ではありませんが、次年度以降も開催する方向であります。ゆいっこまつりでは、ご来場いただきました方々から、たくさんのおアイデアの提供などもいただきました。

松前町社会福祉協議会のことを知っていただくほかに、松前町全体の福祉を考える日、住民による福祉活動を考える日となるよう願っています。

平成27年9月5日(土)2015ゆいっこまつりを開催しました。

平成22年11月25日に竣工した地域福祉交流センター(愛称ゆいっこ)は今年で5周年を迎えます。ゆいっこは、社会福祉法人松前町社会福祉協議会所有。

開催趣旨は5周年のほかに、もつと松前町社会福祉協議会の活動内容を町民に知ってもらうこと。

松前町社会福祉協議会の業務には、



ゆいっこまつり 風景



地域福祉交流センター ゆいっこ共生事業の 取り組み

松前町社会福祉協議会では、地域福祉交流センターオープン時から、共生事業を開催しています。平成26年度の共生事業のメニューは、下記の7教室です。(一般利用除く)

共生事業を通して、町民のみならずが障がい者や地域住民同士で交流を深め、共生していく地域づくりを目指すものです。

障がい者や高齢者らが地域住民のひとりとして地域で孤立することな

く、共に暮らしていけることが大切です。今日各地で「ふれあいいきいきサロン」が開催されています。福祉の世界では、決まり文句になりつつあります。

開催趣旨は、地域住民同士のつながりを深めることを目的にしています。例えば一人暮らしになると、他者への配慮から迷惑をかけないようにしようとする行動になり、結果、日々を暮らす中で、ある日は誰とも会話しなかったということにもなり兼ねません。いきいきサロン活動の中で多く取り組まれている内容の一つにお昼の食事がありません。食事は一人で食べるよりも大人数で食べるほうが楽しく、会話も弾みます。

共生事業の取り組みにもこの願いが含まれており、地域福祉交流センターには次の備品を用意しています。

- * 囲碁・将棋 (各5セット)
- * ノートパソコン (無線LAN)
- * テレビカラオケ (800曲入)
- * 46インチテレビ
- * 6人用テーブル・イス
- * 児童向け図書

ゆいっこ通信、ほーぶ通信中に各月の行事予定表を掲載しております。

す。土・日・祝日を除き、予定の記載がない曜日は利用できませんので、ぜひ仲間同士でゆいっこ利用を検討してみてくださいいかがでしょうか。

平成26年度のゆいっこで開催しました各種教室の参加状況をまとめてみました。

利用者が一番多いのが「パソコン教室」で、時代を反映した状況に思われます。パソコンを覚えるのは一苦勞ですが、参加者同士であれこれ言いながら、操作に奮闘中です。

事業名	開催回数	参加人数	関係者数	利用者数 計
折り紙教室	23	111	92	203
パソコン教室	46	379	72	451
楽しい手話会	21	63	88	151
昔話語り会	19	14	83	97
フォトフレーム教室	23	139	23	162
しめ縄づくり	2	21	5	26
茶道体験教室	2	11	9	20
一般利用	142	363	6	369
合計	278	1,101	378	1,479

利用者が一番多いのが「パソコン教室」で、時代を反映した状況に思われます。パソコンを覚えるのは一苦勞ですが、参加者同士であれこれ言いながら、操作に奮闘中です。



共同募金の歴史と使いみち



赤い羽根募金と歳末たすけあい募金 (松前町の募金の使いみち)



赤い羽根共同募金運動が始まります。皆様のご協力をお願いします。

毎年10月1日に始まる共同募金運動。共同募金運動には、赤い羽根共同募金と歳末たすけあい募金の二つが含まれています。募金活動に取り組むにあたり、各都道府県共同募金会と傘下の市区町村共同募金委員会と連携して共同募金運動を行うことから全国一斉に取り組まれることとなります。

募金方法は市区町村共同募金委員会では様々な方法（戸別募金や職域募金、法人募金、街頭募金など）により取り組まれています。

松前町で取り組む組織が松前町共同募金委員会であり、役員10名（理事8名、監事2名）、評議員18名が選任委嘱されており、



Illustration by アイラ
© Crypton Future Media,INC.www.piaopro.net piaopro

任期はそれぞれ2年です。事業計画、募金目標額などは、地域状況などを踏まえて、理事会にて協議決定し、評議員会に諮られて承認される手続きとなります。また、共同募金に係る基本的な法律は社会福祉法で定められております。事務局は、松前町社会福祉協議会が担っているところです。

平成27年度共同募金運動の詳細は、松前町共同募金委員会発行の広報紙にゆずるとして、募金助成を受けて福祉活動を行う社会福祉協議会としても啓発を行うところであり、

また、共同募金運動の歴史について紹介します。

赤い羽根共同募金の歴史

昭和20年、終戦直後、生活困窮者と戦災孤児の激増など、深刻な社会的・経済的混乱のなかで、国は「生活保護法」（昭和21年10月制定）を中心とした公的扶助政策を推進してきました。一方で、戦前国内に6,700余あった民間社会福祉施設は、戦災によって3,000余に激減し、さらにインフレによる物価の高騰、物資の入手難などによって、復興はおろか施設の維持さえも困難な状況となりました。また、昭和21年、連合軍総司令部（G.H.Q.）は、国が行うべき政策を民間の事業体に行わせてはならないこと、民間が行う事業への公金支出を禁止する覚書を国に発しました。当時、「公私分離の原則」と呼ばれたものです。このような状況のなかで、民間社会福祉事業の活動資金を確保するための寄付金募集（共同募金運動）を、全国的に実施しようという気運が公私の間に高まり、この運動を展開するために「社会事業共同募金中央委員会」（現在「中央共同募金会」）が組織されました。併行して、厚生省（現在「厚生労働省」）が提唱した、国民の「たすけあいの心」を喚起する「国民たすけあい運動」の一環として実施するための「共同募金（コミュニティーチェスト）実施要綱」が昭和22年8月に策定され、第1回の共同募金が昭和22年11月25日から12月25日までの1カ月を運動期間として実施されました。

平成26年度 共同募金の使いみち

赤い羽根共同募金

◆高齢者支援事業

- ①ひとりの不幸も見のがさない活動助成

◆障がい児者支援事業

- ①松前町心身障害者福祉協会助成
- ②ふれあい運動会開催助成

◆児童・青少年支援事業

- ①児童生徒ボランティア活動助成

◆住民を対象とした支援事業

- ①共同募金推進助成
- ②地域活動推進事業

◆組織運営のための費用

- ①松前町共同募金委員会事務費
- ②渡島地方共同募金委員会活動費

◆北海道全域での助成財源

- ①北海道全体枠で助成

歳末たすけあい募金

◆年末時に行われる事業

- ①単身老人クリスマス慰問事業

共同募金は、市区町村共同募金委員会や町民や法人などに募金協力をお願いし、集計後、募金全額を北海道共同募金会へ送金します。

市区町村共同募金委員会では、募金使途計画を作成。この計画に基づき、北海道共同募金会が次年度に市区町村共同募金委員会へ送金。そこから、市区町村内の社会福祉協議会や福祉団体等へ助成金を交付・活用されることとなります。

松前町での共同募金の使いみちについては、総体では上記事業に助成されているところです。

松前町社会福祉協議会では、住民が関わる地域福祉活動に重点を置いています。

上記に記載している高齢者支援事業の「一人の不幸も見のがさない活動助成」事業は、町内会が主体となつて取り組まれる事業です。平成26年度は13の町内会で取り組んでいたいただきました。

地域に暮らす高齢者の見守りや安否確認、高齢者らの交流活動を通して安心して暮らせる地域づくりを共同募金が支えていることを町民のみならず、皆さまに知っていただきたいと思えます。

平成26年度

「ひとりの不幸見のがさない活動助成」

博多町内会	高齢者見守り隊（活動）
建石町内会	長寿と楽しむ会（交流活動事業）
静浦町内会	敬老会
荒谷町内会	介護予防「タンポポ教室」
唐津町内会	唐津町内会高齢者交流事業
大沢町内会	大沢を元気な地域に「裸の付き合い」大作戦事業
赤神町内会	赤神地域交流会
大磯町内会	大磯健康クラブ事業
豊福町内会	豊福町内会カモメ教室・お祝い餅の配付事業
清部町内会	第13回清部地区ふれあい広場
白神町内会	介護予防しらゆり教室
原口町内会	地域交流事業（原口敬老会）
茂草町内会	茂草町内会敬老会事業

また、当事者組織である老人クラブ連合会、心身障害者福祉協会への活動資金が助成されています。

それぞれの組織で会員（仲間）が増え、研修会や交流会などの活発な活動が行われることが健康を高めることにもつながります。

歳末たすけあい募金

例年、歳末たすけあい募金は、全額、松前町社会福祉協議会へ助成され、「単身老人クリスマス慰問事業」に活用されています。

満70歳以上の単身老人の方を対象に民生委員、町内会関係者、松前ライオンズクラブのボランティア協力をいただき、平成26年度は53名に慰问品をお届け。慰問品は、「ロールケーキとメッセージカード」

ロールケーキも喜ばれていると思いますが、地元小学生に作成いただいたメッセージカードが大変喜ばれているように感じています。



介護保険法に係る松前町所在の指定事業所一覧

平成12年度から始まって、幾たびの改正を経て、今年で15年。松前町内にもたくさんの事業所ができました。介護の相談やサービス利用の際にご活用ください。

	サービス種類	事業者名称	事業所所在地	運営法人	電話 (F A X)	
居宅サービス	訪問介護	社会福祉法人 松前町社会福祉協議会 指定訪問介護事業所	〒049-1512 字福山236-4	(社福)松前社協	42-2270 (42-5880)	
		ヘルパーステーション 春	〒049-1505 字博多235	(株)Milieu	46-2911 (46-2912)	
	通所介護	デイサービスセンター 松前南殿荘	〒049-1501 字建石216-184	(社福)松前福祉会	42-4815 (42-2653)	
		デイサービスセンター ほのか苑	〒049-1643 字赤神352-10	(有)向日葵	44-2564 (44-2564)	
		デイサービス ^{レーブ} REVE	〒049-1505 字博多235	(株)Milieu	46-2911 (46-2912)	
		デイサービスひだまり	〒049-1517 字朝日472	ハイム介護計画(株)	42-5755 (42-5756)	
	福祉用具貸与	有限会社にしむら薬局	〒049-1511 字松城12-1	(有)にしむら薬局	42-2135 (42-5152)	
		特定福祉用具販売	有限会社にしむら薬局	〒049-1511 字松城12-1	(有)にしむら薬局	42-2135 (42-5152)
		短期入所生活介護	短期入所生活介護 松前南殿荘	〒049-1501 字建石216-184	(社福)松前福祉会	42-2550 (42-2653)
	訪問看護 (医療系)	松前町立病院	〒049-1503 字大磯174-1	松前町	42-2515 (42-2516)	
居宅介護支援	居宅介護支援	松前町指定居宅介護 支援事業所	〒049-1592 字福山248	松前町	42-2275 (46-2048)	
		指定居宅介護支援事業所 松前南殿荘	〒049-1501 字建石216-184	(社福)松前福祉会	42-4177 (42-2653)	
		社会福祉法人 松前町社会福祉協議会 指定居宅介護支援事業所	〒049-1512 字福山236-4	(社福)松前社協	42-2270 (42-5880)	
		松前ケアセンター	〒049-1503 字大磯205-1	(有)サカイヤ	43-2262 (43-2362)	
		友愛サポート 居宅介護支援事業所	〒049-1517 字朝日237-11	(有)友愛サポート	42-5123 (42-5127)	
		ケアプラザ春	〒049-1505 字博多235	(株)Milieu	46-2911 (46-2912)	
		居宅介護支援事業所 ダンデライオン	〒049-1641 字館浜479	中三株式会社	42-2108 (42-2108)	
介護予防支援	介護予防支援	松前町 地域包括支援センター	〒049-1592 字福山248	松前町	42-2275 (46-2048)	
施設サービス	介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム 松前南殿荘	〒049-1501 字建石216-184	(社福)松前福祉会	42-2550 (42-2653)	
地域密着型サービス	認知症対応型 共同生活介護	グループホーム ゆずりは・ゆずりはの里	〒049-1644 字静浦409-4	(有)五十嵐水産	44-2065 (44-2566)	
		グループホーム 松前さくら苑	〒049-1522 字大沢652-13	松前さくら苑(株)	42-5331 (42-5338)	

日常生活自立支援事業とは？

あなたの暮らしの“安心”をお手伝いする事業です

福祉サービスを利用したいけれど、手続きの仕方がわからない。銀行に行ってお金をおろしたいけれど、自信がなくて誰かに相談したい。商品勧誘の人が来たとき、どう対応していいかわからない。毎日の暮らしのなかにはいろいろな不安や疑問、判断に迷ってしまうことがたくさんあります。日常生活自立支援事業は、このような場合に、福祉サービスの利用手続きや、金銭管理のお手伝いをして、あなたが安心して暮らせるようにサポートします。

相談からサービスの提供まで、松前町社会福祉協議会がお手伝いします

日常生活自立支援事業は、社会福祉協議会が実施しています。

相談からサービスの提供にいたるまで、社会福祉協議会で働く「専門員」「生活支援員」があなたのところへうかがいます。

専門員の役割：困りごとや悩みごとについて相談を受けます。そしてご本人の希望をもとに適切な支援計画をつくり、契約までサポートします。サービスの利用を始めてからも、支援計画を変えたい場合や心配な点があればいつでも相談にうかがいます。

生活支援員の役割：契約内容にそって、定期的に訪問します。福祉サービスの利用手続きや預金の出し入れをサポートします。

☎相談受付中

松前町社会福祉協議会

でんわ 42-2270

「生活困窮者自立支援法」に基づく相談センターです

ひとりで悩まずに気軽に相談ください

あなたなの周りで困っている方やご心配な方がいたら、お知らせください。

お困りごとへの相談・支援と問題解決に向けて

生活上（暮らしや仕事）の悩み経済的な困りごとなどまわりに打ち明けにくいこと、解決にかかる費用のご心配など、気にせずご相談ください。

相談は無料で、個人情報はじめプライバシーは厳守致します。

北海道社会福祉協議会 自立相談支援センターおしま

おしまHOT（ほっと）かないセンター

所在地 七飯町本町5丁目1番6号

でんわ 0138-64-6280 FAX 0138-64-6281

松前歌謡愛好会 チャリティーカラオケ発表会

日時 平成27年10月18日(日) 10:30～

場所 江良パートナーシップランドいさりび

主催 松前歌謡愛好会実行委員会

後援 道南歌謡連合会

協賛 松前町社会福祉協議会

お問い合わせ先 代表 鎌田 芳男 ☎42-3553



入場無料

お気軽にお越しください

家庭介護教室 参加者募集

9月より家庭介護教室を地域福祉交流センターにて開催しております。

人口の高齢化により、介護を必要とする方は増える傾向です。それでも健康であることを願うばかりですが、備えも必要となります。

◆無理なく安心して介護をしたい。
◆将来の介護に備えて勉強してみたい。
◆これから資格を取りたいと考えている方。

基本的な介護を学んでみませんか。どなたでもお気軽に参加していただきたいと計画しています。また、介護全般の相談や介護保険制度の情報提供なども行います。

家庭介護教室開催内容は次のとおりです。参加申込をお待ちしています。

連絡先 社協42-2270

第2回 高齢者疑似体験

*高齢者疑似体験教材を使用し、実際に体験。(耳が聞こえにくい、目が見えにくい、膝が悪いなど教材で体験します)

日時 10月15日(木)

午後1時30分～午後2時30分

場所 地域福祉交流センター

ゆいっこ

第3回 介護技術①

内容 *移動・移乗の介助など
開催日 11月(未定)

第4回 介護技術②

内容 *おむつ交換の介助方法
開催日 12月(未定)

第3回、第4回は開催日未定につき、今後のほうぶ通信又はゆいっこ通信にてお知らせいたします。



松前町 心身障害者福祉協会の紹介

松前町心身障害者福祉協会は、障がい者や協会の活動に賛同する方を対象に、仲間づくりを行っています。

活動目的は、会員同士の親睦交流を主体に、研修会参加や渡島地区身体障害者福祉協会の事業に参加しています。

本年8月には、渡島地区身体障害者福祉大会・スポーツ大会が森町にて開催され、参加しました。

5月は、花見交流会、10月には、町内での室内運動会、11月には日帰り研修旅行、1月には新年交流会が計画されています。会員数50名弱です。

関心のある方は、協会の事務局を担っている、松前町社会福祉協議会までお問い合わせ願います。新会員大歓迎です。

電話 42-2270

編集後記

社協通信第3号をお届けいたします。

広報作成の際にいつも感じることは言葉を知らなさすぎる、と痛感する次第です。

ページ設定や記事内容の順番などはこれでもいいのかなどなど、思案に暮れてしまいました。

また、町内会などで取り組まれる行事の取材にも出かけなければならぬなども感じているところです。

ゆいっこまつりを社協組織として全部門参加で開催することができました。ご来場いただきました町民皆様には心よりお礼申し上げます。

さて、社会福祉協議会では、本業の他に福祉団体の事務局も担っています。松前町老人クラブ連合会、松前町心身障害者福祉協会、松前町共同募金委員会の3団体。

本誌でも一部掲載することができましたが、より詳しく紹介できるように紙面工夫していきたいと思います。